

# 四半期報告書

(第33期第3四半期)

自 平成29年9月1日

至 平成29年11月30日

株式会社 **メディカル一光**

---

# 四半期報告書

---

- 1 本書は四半期報告書を金融商品取引法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 2 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書を末尾に綴じ込んであります。

株式会社 **メディカル一光**

# 目 次

	頁
【表紙】 .....	1
第一部 【企業情報】 .....	2
第1 【企業の概況】 .....	2
1 【主要な経営指標等の推移】 .....	2
2 【事業の内容】 .....	2
第2 【事業の状況】 .....	3
1 【事業等のリスク】 .....	3
2 【経営上の重要な契約等】 .....	3
3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】 .....	3
第3 【提出会社の状況】 .....	4
1 【株式等の状況】 .....	4
2 【役員の状況】 .....	5
第4 【経理の状況】 .....	6
1 【四半期連結財務諸表】 .....	7
2 【その他】 .....	13
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】 .....	14

## 【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成30年1月12日

【四半期会計期間】 第33期第3四半期（自平成29年9月1日 至平成29年11月30日）

【会社名】 株式会社メディカルー光

【英訳名】 Medical Ikkou Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 南野 利久

【本店の所在の場所】 三重県津市西丸之内36番25号

【電話番号】 059-226-1193（代表）

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長 大西 登志和

【最寄りの連絡場所】 三重県津市西丸之内36番25号

【電話番号】 059-226-1193（代表）

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長 大西 登志和

【縦覧に供する場所】 株式会社メディカルー光 東京支店  
（東京都港区六本木一丁目4番5号 アークヒルズサウスタワー3階）  
株式会社東京証券取引所  
（東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第32期 第3四半期 連結累計期間	第33期 第3四半期 連結累計期間	第32期
会計期間	自 平成28年3月1日 至 平成28年11月30日	自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日	自 平成28年3月1日 至 平成29年2月28日
売上高 (千円)	22,128,059	23,158,466	29,489,669
経常利益 (千円)	778,260	1,124,545	1,153,148
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	629,572	1,051,232	956,043
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	454,451	1,282,845	983,767
純資産額 (千円)	7,566,145	9,225,019	8,095,461
総資産額 (千円)	25,100,034	26,823,157	24,908,873
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	328.57	548.63	498.95
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	30.1	34.4	32.5

回次	第32期 第3四半期 連結会計期間	第33期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成28年9月1日 至 平成28年11月30日	自 平成29年9月1日 至 平成29年11月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	76.08	149.37

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、次のとおりであります。

(ヘルスケア事業)

株式会社ハピネライフケアと株式会社ケアスタッフ及び有限会社ハピネカンパニーは、平成29年3月1日付で、株式会社ハピネライフケアを存続会社として合併いたしました。また、株式会社ヘルスケア一光と株式会社ハピネライフケアは、平成29年9月1日付で、株式会社ヘルスケア一光を存続会社として合併し、株式会社ハピネライフ一光に商号を変更しております。

この結果、平成29年11月30日現在では、当社グループは、当社、連結子会社11社及びその他の関係会社1社により構成されております。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用情勢や企業収益の改善が進むなか、個人消費や設備投資において持ち直しの動きがみられ穏やかな景気回復が続きました。

このような経営環境のもと、当社グループは、主力とする調剤薬局事業におきましては、安全性を最優先としつつ「患者のための薬局ビジョン」の実現に向けた取り組みを進めております。ヘルスケア事業におきましては、上期に続いて有料老人ホームの継続的な入居者確保を推進し、事業規模および収益拡大に努めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高23,158百万円(前年同期比4.7%増)、営業利益1,164百万円(前年同期比41.8%増)、経常利益1,124百万円(前年同期比44.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,051百万円(前年同期比67.0%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、前期にグループ会社化した子会社および前期、当期出店の3店舗の寄与により、売上高は16,830百万円(前年同期比0.8%増)となりました。利益面では原価管理の強化を図ったことにより、営業利益1,311百万円(前年同期比16.8%増)と増益となりました。

#### ② ヘルスケア事業

ヘルスケア事業におきましては、有料老人ホームの継続的な入居者確保、および平成28年9月にグループ化したウェルフェア株式会社が寄与し、増収増益となりました。この結果、売上高4,448百万円(前年同期比20.2%増)、営業利益293百万円(前年同期比105.7%増)となりました。

#### ③ 医薬品卸事業

医薬品卸事業におきましては、三重県、岐阜県、滋賀県および愛知県を中心に積極的な営業活動を行った結果、増収増益となりました。この結果、売上高1,783百万円(前年同期比8.6%増)、営業利益88百万円(前年同期比70.8%増)となりました。(内部売上を含む売上高は2,421百万円となり、前年同期比で13.3%増加しました。)

#### ④ 不動産事業

不動産事業におきましては、賃貸不動産からの収入によって、売上高96百万円(前年同期比4.4%増)、営業利益52百万円(前年同期比15.3%増)となりました。

また、投資事業におきましては、投資有価証券売却益および投資その他の資産の売却益530百万円を計上しております。

#### (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (3) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### ① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	6,000,000
計	6,000,000

###### ② 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成29年11月30日)	提出日現在発行数(株) (平成30年1月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	2,035,000	2,035,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	2,035,000	2,035,000	—	—

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成29年9月1日～ 平成29年11月30日	—	2,035,000	—	917,000	—	837,050

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成29年8月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

平成29年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 118,900	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,916,000	19,160	—
単元未満株式	普通株式 100	—	—
発行済株式総数	2,035,000	—	—
総株主の議決権	—	19,160	—

② 【自己株式等】

平成29年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社メディカルー光	三重県津市西丸之内36番25号	118,900	—	118,900	5.84
計	—	118,900	—	118,900	5.84

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。  
(役職の異動)

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
代表取締役常務取締役 薬局事業本部長 兼 情報管理室担当 兼 東京支店担当	代表取締役常務取締役 薬局事業本部長 兼 教育研修部長 兼 情報管理室担当 兼 東京支店担当 兼 渉外部担当	野間 誠司	平成29年10月1日
常務取締役 東京支店担当 兼 営業開発本部長	常務取締役 東京支店担当 兼 企画開発部担当 兼 営業部担当	酒向 良弘	平成29年10月1日



## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成29年9月1日から平成29年11月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成29年3月1日から平成29年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

# 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,262,010	5,781,505
売掛金	3,624,233	4,361,763
商品	1,100,156	1,182,839
その他	538,596	1,107,212
貸倒引当金	△3,220	△3,531
流動資産合計	10,521,776	12,429,789
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,688,530	6,436,276
土地	3,030,256	3,036,386
その他（純額）	349,325	532,234
有形固定資産合計	10,068,112	10,004,896
無形固定資産		
のれん	1,124,238	1,008,523
その他	249,023	241,012
無形固定資産合計	1,373,261	1,249,535
投資その他の資産		
投資有価証券	1,424,370	1,866,855
敷金及び保証金	754,943	799,248
その他	766,408	472,831
投資その他の資産合計	2,945,722	3,138,935
固定資産合計	14,387,097	14,393,368
資産合計	24,908,873	26,823,157
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	24,309	21,813
買掛金	3,122,039	3,520,497
短期借入金	—	56,000
1年内返済予定の長期借入金	3,398,641	4,014,644
未払法人税等	338,852	404,867
賞与引当金	206,574	23,529
その他	843,341	1,473,258
流動負債合計	7,933,758	9,514,611
固定負債		
長期借入金	7,655,366	6,773,896
リース債務	364,231	326,863
退職給付に係る負債	451,057	494,133
その他	408,999	488,634
固定負債合計	8,879,654	8,083,526
負債合計	16,813,412	17,598,138

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	917,000	917,000
資本剰余金	837,050	837,050
利益剰余金	6,279,620	7,177,566
自己株式	△199,317	△199,317
株主資本合計	7,834,352	8,732,299
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	254,647	491,105
退職給付に係る調整累計額	6,460	1,615
その他の包括利益累計額合計	261,108	492,720
純資産合計	8,095,461	9,225,019
負債純資産合計	24,908,873	26,823,157

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
売上高	22,128,059	23,158,466
売上原価	19,747,038	20,441,306
売上総利益	2,381,020	2,717,159
販売費及び一般管理費	1,560,045	1,552,998
営業利益	820,975	1,164,161
営業外収益		
受取利息	519	954
受取配当金	15,744	16,241
業務受託料	2,250	1,530
助成金収入	12,502	12,701
その他	18,645	20,196
営業外収益合計	49,662	51,622
営業外費用		
支払利息	64,080	53,886
売買有価証券運用損	10,161	8,724
その他	18,136	28,627
営業外費用合計	92,377	91,239
経常利益	778,260	1,124,545
特別利益		
投資有価証券売却益	341,766	112,080
補助金収入	—	5,120
投資その他の資産売却益	—	418,241
特別利益合計	341,766	535,441
特別損失		
固定資産売却損	11,180	8,592
固定資産除却損	1,360	479
固定資産圧縮損	—	5,120
投資有価証券売却損	3,993	5,063
関係会社株式売却損	24,319	—
賃貸借契約解約損	—	2,000
特別損失合計	40,853	21,255
税金等調整前四半期純利益	1,079,174	1,638,731
法人税、住民税及び事業税	511,026	675,670
法人税等調整額	△61,424	△88,172
法人税等合計	449,601	587,498
四半期純利益	629,572	1,051,232
親会社株主に帰属する四半期純利益	629,572	1,051,232

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
四半期純利益	629,572	1,051,232
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△175,817	236,457
退職給付に係る調整額	696	△4,845
その他の包括利益合計	△175,120	231,612
四半期包括利益	454,451	1,282,845
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	454,451	1,282,845

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間より、連結子会社であった株式会社ケアスタッフ及び有限会社ハピネカンパニーは、連結子会社である株式会社ハピネライフケアと合併したため、連結の範囲から除外しております。また、当第3四半期連結会計期間より、連結子会社であった株式会社ハピネライフケアは、連結子会社である株式会社ヘルスケア一光と合併したため、連結の範囲から除外しております。なお、株式会社ヘルスケア一光は株式会社ハピネライフ一光に商号変更しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日)
減価償却費	449,875千円	467,607千円
のれんの償却額	104,953千円	115,715千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年3月1日 至 平成28年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年3月28日 取締役会	普通株式	68,978	36.00	平成28年2月29日	平成28年5月2日	利益剰余金
平成28年9月21日 取締役会	普通株式	68,978	36.00	平成28年8月31日	平成28年11月2日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年2月22日 取締役会	普通株式	76,643	40.00	平成29年2月28日	平成29年5月1日	利益剰余金
平成29年9月20日 取締役会	普通株式	76,643	40.00	平成29年8月31日	平成29年11月2日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年3月1日 至 平成28年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	16,694,068	3,699,979	1,641,710	92,301	22,128,059	—	22,128,059
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	274	495,758	27,000	523,032	△523,032	—
計	16,694,068	3,700,254	2,137,468	119,301	22,651,092	△523,032	22,128,059
セグメント利益	1,123,210	142,913	52,095	45,853	1,364,073	△543,097	820,975

(注) 1 セグメント利益の調整額△543,097千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用588,186千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更し、また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合について、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更したことに伴い、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「調剤薬局事業」のセグメント利益が14,500千円減少し、「ヘルスケア事業」のセグメント利益が54,840千円減少しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	16,830,162	4,448,251	1,783,711	96,340	23,158,466	—	23,158,466
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	274	637,426	26,700	664,400	△664,400	—
計	16,830,162	4,448,526	2,421,137	123,040	23,822,866	△664,400	23,158,466
セグメント利益	1,311,526	293,932	88,967	52,851	1,747,278	△583,116	1,164,161

(注) 1 セグメント利益の調整額△583,116千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用640,880千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日)
1 株当たり四半期純利益金額	328円57銭	548円63銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	629,572	1,051,232
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	629,572	1,051,232
普通株式の期中平均株式数(株)	1,916,083	1,916,083

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2 【その他】

平成29年9月20日開催の取締役会において、平成29年8月31日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

- |                      |            |
|----------------------|------------|
| ① 配当金の総額             | 76,643千円   |
| ② 1株当たりの金額           | 40円00銭     |
| ③ 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 | 平成29年11月2日 |



## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成30年1月12日

株式会社メディカルー光  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 原 田 誠 司 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 浅 井 明 紀 子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社メディカルー光の平成29年3月1日から平成30年2月28日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成29年9月1日から平成29年11月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成29年3月1日から平成29年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

## 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

## 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社メディカルー光及び連結子会社の平成29年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。